

親子でつくろう!

ベランダ菜園

栽培の難易度

難 中易

コンテナの大きさ



ナス
(ナス科)

ベランダ栽培のポイント

1. 主枝と一番花のすぐ下のわき芽2本を伸ばす3本仕立てに。
2. 開花後20日ほどの若い果実を収穫。株を疲れさせない。
3. 日当たりをよくして、不要なわき芽は早めに摘み取る。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		■		■							

■ 種まき期間 ■ 植えつけ期間 ■ 収穫期間

長〜く
収穫
できる

ナスは古くから栽培されているおなじみの野菜のひとつです。初夏から晩秋まで長期間の収穫が可能で、丸ナス、中長ナス、米ナスなど形や種類が多いことで、楽しみもいっそう広がります。大阪の水ナス、京都の加茂ナス、仙台長ナスなど地方品種も豊富です。生育適温は30度前後と高く、日当たりのよい場所を好み、日照が少ないと生育が悪くなります。乾燥に弱いのでたっぷり水やりします。

1.スタート 種まき ポットまき

ナスは種まきから収穫まで時間がかかるので、苗を購入して植えつけたほうが簡単です。種から育てるときは、春先の種まき後は室内に入れて、日当たりがよく、暖かい場所で育苗します。

①種をまく

3号ポットに土を入れ、指先で3〜5か所に穴をあけ、それぞれに種を1粒ずつ入れる。



②土をかぶせる

種が隠れるくらい土をかぶせて手で押さえ、たっぷりと水やりする。



2.2週間後

間引き(1回目)

日当たりのよい室内で乾燥させないように管理します。双葉が出そろったら、5粒まきの場合は3本にします。3粒まきの場合は間引かずこのまま育てます。



4.10週間後

植えつけ

暖かい気候を好むので、十分に気温が上がってから植えつけます。この地域では5月の連休ころが適期。苗を購入する場合も、この時期を逃さないようにします。

①植え穴をあける

大型のコンテナに土を入れ、中央に根鉢が入る大きさの穴をあける。



②苗を植えつける

苗の根元をはさむように持ち、苗をひっくり返してポットをはずす。絵のように、根が周囲に見えるくらいに回っている状態がよい。



根鉢を崩さないように植え穴に入れ、まわりの土を寄せながら、株がまっすぐになるように調整する。たっぷりと水やりする。



③仮支柱を立てる

長さ60cmくらいの支柱を用意し、風などによる倒伏を防ぐため、株のそばに立てる。茎にひもをかけ、3回くらいひねってから支柱に回して縛る。ナスにやさしく、支柱にしっかりポイント。



3.3週間後

間引き(2回目)

本葉が見え始めたら、生育のよい元気な苗を選んで1本に間引きます。3粒まきの場合も同様です。気温が上がってきたら屋外の日向に置き、本葉7〜8枚になるくらいまで育てます。



元気な苗を1本残してほかを抜き取る。残す苗を傷めないようにやさしく。

5.12週間後

支柱立て わき芽取り・追肥

最初の蕾がついたら、蕾のついた枝とその下2本の側枝を残して、ほかのわき芽を摘み取ります。本支柱を立てて枝を支えます。

①わき芽を取って支柱を立てる

長さ120cmくらいの支柱を株のわきに立て、要所の枝を誘引する。



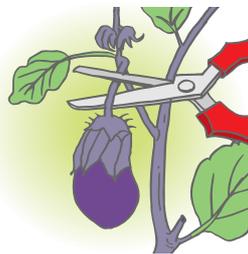
②追肥をする

実がなり始めたら追肥する。これから2週間に1回、化成肥料10gを株元にまく。液体肥料でもよい。

6.14週間後

一番果の収穫

最初の実が着くころは、まだ株が十分に生長していないので、早めに収穫して養分を株の生長に回します。この時期に大きな株にしたほうが、結果的に収量が上がります。収穫した実は食べられます。



7.16週間後

収穫

開花後20〜25日くらい経ったら収穫です。とり遅れると種が熟し、食べにくくなるので、早めに収穫しましょう。

へたの上をはさみで切る。大きくすると味が落ちる。絵の中長品種の場合は、長さ10cmくらいが適期。



JAでエコライフ 太陽光発電はじめませんか?

太陽光発電(平成23年度)
朗報
国からの補助金が
受けられます。

導入支援制度
国から補助金が受けられます。
(平成23年度迄)

4.8万円

一般的な家庭(4kw)の場合、補助金額は
19.2万円

あまった電気は売ることができます。
太陽光で発電し、ご家庭で使って余った電力は、電力会社に売ります(平成23年度迄)

電力会社への売電価格 **42円/kw**

お気軽に
ご相談ください

お問い合わせ
JAとうと経済部
瑞浪市明世町戸狩815-1 Tel 0572-68-5120

JAガスプラザとうと
多治見市市之倉町2-177 Tel 0572-22-3823

光熱費診断シミュレーション&お見積もり/無料受付中!